

CFCCの使用実績 **高耐食性グラウンドアンカー**

足洗谷焼岳対策工工事

焼岳は岐阜県と長野県の両県にまたがり、明治40年以降20回以上の噴火記録を持つ活発な活火山です。現在も山頂部を形成する溶岩円頂丘が脆弱な堆積物で覆われているため、土石流がたびたび発生しています。

焼岳からわずか4～7km離れた渓流沿い（足洗谷）に集落があるため、噴火時の土砂流出により集落に甚大な災害を及ぼすことが懸念され、土砂移動現象に対してグラウンドアンカーによる対策工工事が行われました。

足洗谷は温泉地帯であり、酸性土壌です。そのため酸性土壌地帯に使用実績の多いCFCCを引張材としたNMグラウンドアンカーが採用されました。

発注者	国土交通省北陸地方整備局 神通川水系砂防事務所
所在地	岐阜県
規模	アンカー長 17.0m～38.0m 423本
使用材料	CFCC1×7 12.5、L=約54,000m (5・6本マルチ)
補強材用途	グラウンドアンカー引張り材
竣工	2004年度完成予定



< ACCトピックス Vol.11 Nov. 2000より >

